

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月16日
事業名	松くい虫被害対策自主事業	担当課・係名	都市計画課都市計画係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	42
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	昭和57年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	優れた風致景観と防風等の機能を有している松の保全				
対象 (誰を・何を)	松くい虫被害対策自主事業計画に基づいた松				
内容	松くい虫被害の予防対策として樹幹注入、松くい虫の駆除対策として特別伐倒を委託により実施				
根拠法令・条例等	森林病虫害防除法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	2,227	1,666	2,223
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	1,290	794	569
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	937	872	1,654
	職員人数 (概算職員数)	人			0.11
	人件費計 (b)	千円			674
総事業費 (a)+(b)	千円	2,227	1,666	2,897	
事業費内訳 H 25 年度	松くい虫被害対策委託料 : 2,137千円 苗木代 : 86千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 枯松の本数	本	29	29	26
	② 計画対象の松	本	52	18	57
活動指標 (活動量)	① 特別伐倒の本数	本	29	29	26
	② 樹幹注入対策の本数	本	52	18	57
成果指標 (達成度等)	① 対策実施率 (伐倒)	%	100	100	100
	② 対策実施率 (樹幹注入)	%	100	100	100

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 現地調査や実施計画の作成は職員が行い、実施計画に基づく対策は専門業者が実施しており、実施主体は妥当である。
	・実施手段は妥当か	理由	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 樹幹注入や駆除対策である特別伐倒といった松くいに関する専門的な知識と技術力が必要な対策について専門業者に委託しており、実施手段は妥当である。
成果	・意図した成果が得られているか。	理由	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 専門業者への委託により、適正な対策を実施しているが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
	・コストに対して効率的か	理由	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいる。
効率性	・コストの削減等を図ったか	理由	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 駆除対策である特別伐倒に加え、予防的な対策（樹幹注入）を行うことで、松くい虫の被害の拡大を事前に防いでいるが、松枯れ量はやや増加する傾向にある。
	担当課による評価		<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
			評価理由 必要最低限の予算で、松くい虫対策を適正に行っている。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	第四次事業計画に基づき、引き続き松の保全に取り組んでいく。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	実施計画の事業区域外の松についても、松枯れが確認されており、その対策が課題となっている。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

実施計画に基づき、予防対策（樹幹注入）を行うとともに、枯れ松を駆除することで、引き続き松の保全に取り組む。
